

# レンコン黒皮症に対する総合防除法

農業総合センター園芸研究所

レンコンネモグリセンチュウ（以下センチュウ）によってレンコン可食部に黒点等を生じて商品価値を低下させるレンコン黒皮症が、本県で問題となりつつあります。そこで、本症の原因となるセンチュウに対して有効な防除法を検討し、圃場における被害程度別に防除法を組み合わせた総合防除法を体系化しました。

## センチュウ被害の特徴

センチュウは、レンコンのひげ根を主な生息場所とし、肥大途中のレンコン表面を加害します。

レンコンが肥大するとその傷が広がって黒点となり、外観品質が低下します（写真1）。

センチュウは、肥大したレンコン可食部に寄生することはなく、食味や衛生面で問題とはなりません。外観を悪くして商品価値を低下させ、生産者の収入を減少させます。



写真1 健全レンコン（上）と被害レンコン（下）



図1 レンコン黒皮症対策資料

## 総合防除法のポイント

本研究では、センチュウに対する様々な防除法の効果を調査・検証し、以下のポイントをまとめました（図1）。

- ①被害の無い種バスを使用。畦畔を補修し、センチュウのいる残さや土壌の流出を防止。
- ②早掘りにより、被害を回避。
- ③雑草防除を徹底し、収穫後の残さを除去してセンチュウを増やさない、残さない。
- ④石灰窒素は土壌とよく混和して止水。地温が高いほど効果的。

## 総合防除法の普及

これまでにも効果を明らかにした防除法を被害程度別にメニュー化し、総合防除法として体系化（詳細は園芸研究所HP）して指導者向けに対策マニュアルを作成しました（図2）。

今後は、作成したマニュアルを基に、普及センター等と協力しながら現地実証圃を設置し、有効性を実証するとともに、さらなる情報発信を行って、レンコン黒皮症対策を推進していきます。



図2 レンコン黒皮症防除対策マニュアル